
明け方、こころ、その景色

河野夜兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明け方、こころ、その景色

【Nコード】

N2714K

【作者名】

河野夜兎

【あらすじ】

毎日同じように世が明ける。でも、心に映る『景色』は本当はどんな様子で、どんな色をしているんだろうね…？

朝起きて一番に思った。

当たり前のことなんだけど

『時間で、とまらないんだなあ』と。

カーテンを開けると

まだ、夜が明けたばかりの深いインディゴブルーの空

風が鳴く音や、木々の揺れる音が

これから明けていくであろう

まぶしいひかりを運んでくるのだろうけれど……

この時間が流れることを感じさせる明け方の空を見ることが

今日もまた……すこし憂鬱だと思った。

どうしてかな？

心が重い……

そう思ってたため息を落としても

きつと、暗いインディゴブルーの空はやがて光を含み淡いセルリアンブルーへと変わり、

町も木々も動き出す人も

あるべき『色』
を取り戻して

また新しい時間《一日》が始りを迎えるんだ……

私の『あるべき色』はまだ戻らない。

ううん、『戻せない』

そんな今日も鏡の中のわたしは
朝からなんだか難しい顔してる……

インディゴの闇の中
明けることを望まない
時が進むのをまだ心が拒む
理由はきつと……

『弱い』からかな…？

でも別にね、無理はしないから
もう強がるのも
作り笑いもやめたの。

だって、別に、
強くなんかなりたくないから
無理して強くなったって

それは、『ほんとの強さ』じゃないから

いつか『ほんと』に強くなるために

わたしの

『あるべき心の色』を戻せるその日まで。

この夜明けが、美しいと感じる
日の光があたたかいと感じる

そのときがくるまで………

いつか時が進み

きっと、私の心も

明け方の薄暗い空から

日が昇り輝く淡い空へと

向かい

歩く足を進めていける時がくる

そう信じようと思う。

今はまだ夜明け前

でも、きっと

いつかは……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2714k/>

明け方、ころ、その景色

2011年1月16日07時12分発行